

**市民の企画提案による協働のまちづくり事業
平成29年度実施事業 評価結果及び意見要旨**

提案事業名：障がい者スポーツを通じて考える「誰にもやさしいまちづくり」				
提案団体名：スポーツ交流で誰にもやさしい旭川を考える会				
担当部署名：観光スポーツ交流部スポーツ課、福祉保険部障害福祉課				
評価項目	配点等	配点	評価平均点	◎ 評価に関する補足 又は 実施事業に対する意見・感想・アドバイス等
事業の成果	①事業目的が達成され、市民(受益者・参加者等)の満足を得ることができたと認められるか。	5	4.83 点	<ul style="list-style-type: none"> ・高い集客率につながったSNS等の活用方法を他団体ともシェアしてほしい。 ・アンケートにより得たフィードバックは今後の市全体の財産となる。 ・緻密な計画で実施されており、参加者の笑顔が印象的。今後の発展に期待する。 ・事業の成長性を考え、市側の将来的なバックアップも検討してほしい。 ・車いすでは避けがちな環境での野外活動を試み、成功事例をつくった点は活動視野を広げる貢献であった。 ・多様な市民の参加が見られ、知人や友人との参加が多い中でも個人での参加もあり、社会参加や外出の機会が創出につながっている。 ・参加者増のための取組、協賛企業への呼びかけを反省に挙げているが、改善の具体策を検討することにより継続の見込みがさらに高まると考える。 ・アンケートにより事業結果の見える化を図っている。設問にイベント内の参加者間交流の満足度を加えることで、事業目的の達成度が評価できるようになると思う。 ・大規模な会場を必要とすることから、市との協働の意義は高く評価できる。今後市で取り組むべき課題や優先順位等を具体的に示せると良い。 ・障がい者と健全者が一緒に活動することで相互理解が深まる事業モデル。もっと色々な場での実施を期待したい。 ・災害時に起こりうることやサポートすべきことを考える場が多くあると良い。 ・アンケートにあった、旭川の住みにくい点を皆で話し合う機会があっても良い。 ・事業の拡大を期待したいが、ボランティアを確保できるかが心配。昔に比べてボランティアという言葉が身近になっていることもあり、高校生がゴミ拾いに参加する様子も諸所に見られることから、そういった層へのPRも大切と思う。 ・学生のボランティア参加については、先生からの働きかけが大きな影響力を持つ。PRの対象や方法も工夫が必要である。
	②事業内容、実施方法は妥当で、計画に基づき実施されたと認められたか。	5	4.83 点	
	③事業の収支は適切であり、費用に見合った効果があったと認められるか。	5	4.67 点	
	④協働事業として又は団体の自主的な活動による今後の発展や、他の取組への波及効果が期待できるか。	5	4.67 点	
協働の効果	⑤団体と市の役割分担が妥当で、それぞれが役割を果たせたと認められるか。	5	4.50 点	
	⑥協働により、単独で実施するよりも事業効果が高まったと認められるか。	5	4.67 点	
合計		30	28.17 点	

提案事業名：銀座まちなかにつながる障がいのある人となない人とのレク事業				
提案団体名：レクスポあさひかわ				
担当部署名：地域振興部地域振興課、福祉保険部障害福祉課				
評価項目	配点等	配点	評価平均点	◎ 評価に関する補足 又は 実施事業に対する意見・感想・アドバイス等
事業の成果	①事業目的が達成され、市民(受益者・参加者等)の満足を得ることができたと認められるか。	5	4.50 点	<ul style="list-style-type: none"> ・「レク」の概念を広げるユニークな活動と感じた。今後は住民、市民の主体的な活動へと深めていくことが必要。 ・3年間の取組を通じ地域とのつながりが生まれ、障がい者を理解し一緒に楽しむ環境の必要性が提言されている。今後の発展を期待したい。 ・協働事業として継続し、旭川から全国に発信できるようなイベントを創り出してほしい。 ・実施計画を課題、目的、効果と簡潔に示した上で3年目としての課題を焦点化することで、実施報告との比較がしやすくなると思う。 ・まちなかの良さを再確認したり、参加団体の持てる力を活用したりしている点は評価できる。が、謝礼や会場費が高額で、市民の自主的な活動にとっては課題である。予算と決算の差額が大きい経費についても振り返りと今後の方向性を示すことが求められる。 ・参加者の声を聞くなど、客観的な評価指標を加えると良い。経年的に関わっている市もこの点をサポートすると良かった。 ・個人のアイデアから始まり、その思いを継ぐ人が生まれ、広がっていくという流れが見えた。他の地域や団体の活動のヒントになるような取組であった。 ・銀座商店街での広がりは面白かった。今後期待する。 ・事業内容や発展性は高く評価できる。一方で協力者の増加や資金調達等、自主運営のためのサポートは今後も必要である。
	②事業内容、実施方法は妥当で、計画に基づき実施されたと認められたか。	5	4.50 点	
	③事業の収支は適切であり、費用に見合った効果があったと認められるか。	5	4.50 点	
	④協働事業として又は団体の自主的な活動による今後の発展や、他の取組への波及効果が期待できるか。	5	4.50 点	
協働の効果	⑤団体と市の役割分担が妥当で、それぞれが役割を果たせたと認められるか。	5	4.50 点	
	⑥協働により、単独で実施するよりも事業効果が高まったと認められるか。	5	4.50 点	
合計		30	27.00 点	

市民の企画提案による協働のまちづくり事業 平成29年度実施事業 評価結果及び意見要旨

提案事業名：常磐的アクティブラーニングのすすめ			
提案団体名：常磐サロン実行委員会			
担当部署名：地域振興部地域振興課, 社会教育部社会教育課			
評価項目	配点等	配点	評価平均点
事業の成果	①事業目的が達成され、市民(受益者・参加者等)の満足を得ることができたと認められるか。	5	4.00 点
	②事業内容、実施方法は妥当で、計画に基づき実施されたと認められたか。	5	3.33 点
	③事業の収支は適切であり、費用に見合った効果があったと認められるか。	5	3.67 点
	④協働事業として又は団体の自主的な活動による今後の発展や、他の取組への波及効果が期待できるか。	5	4.00 点
協働の効果	⑤団体と市の役割分担が妥当で、それぞれが役割を果たせたと認められるか。	5	3.33 点
	⑥協働により、単独で実施するよりも事業効果が高まったと認められるか。	5	3.17 点
合計		30	21.50 点

◎ 評価に関する補足 又は 実施事業に対する意見・感想・アドバイス等

・学生中心に企画していく「場」づくりは大きな意義を感じる。一方で、枠組みがないと年度末に事業が偏るため、年間計画の作成・学生との共有によりバランスが良くなると思う。
 ・得意分野を持つ市民が参加し、様々な視点で旭川のまちを考える良い機会を創り上げ、まちづくりの実践にも貢献した事業。今後も期待する。
 ・目的と実施内容、結果とプロセスの整理を行う必要を感じた。
 ・協働の要素が薄く感じる内容であった。また、参加者を広げることでより良い成果につながる。
 ・まちのコミュニティ形成にとって若者参加は重要。かつ継続参加には参加感が必要であるため、アクティブラーニングの手法を試みた点は評価できる。
 ・作成した広告はキャッチコピーに目を引かれ、学生視点の広報活動の有効性を感じた。
 ・予算より広告、会場費が抑えられた点は評価できる。今後継続可能な事業にするためには受益者負担の検討と、事業目的の一つであるネットワーク拡大のための講師謝金の使途や人材選択の検討を行い、多世代間交流へ発展できると良い。
 ・学生だけでなく、参加した社会人の感想や意見も把握できると良い。
 ・自分たちで考えてやってみるという経験ができる場が少ない、現代の子どもたちの学びの場としてこういったものが増えるとよい。
 ・参加が特定の学校から偏っているのは勿体ないと感じた。
 ・学生のやりたいことをしっかりとまとめてから事業化しても良かったように感じる。走りながらでは焦りが生じやすい。また、担当部署との距離も感じられ、連絡調整が上手くいってなかったのかと察する。

提案事業名：児童の健全育成を目的とした放課後及び長期休み中の児童の居場所づくり事業			
提案団体名：一般社団法人旭川東豊スポーツクラブ			
担当部署名：子育て支援部こども育成課			
評価項目	配点等	配点	評価平均点
事業の成果	①事業目的が達成され、市民(受益者・参加者等)の満足を得ることができたと認められるか。	5	4.17 点
	②事業内容、実施方法は妥当で、計画に基づき実施されたと認められたか。	5	4.00 点
	③事業の収支は適切であり、費用に見合った効果があったと認められるか。	5	4.00 点
	④協働事業として又は団体の自主的な活動による今後の発展や、他の取組への波及効果が期待できるか。	5	4.17 点
協働の効果	⑤団体と市の役割分担が妥当で、それぞれが役割を果たせたと認められるか。	5	4.33 点
	⑥協働により、単独で実施するよりも事業効果が高まったと認められるか。	5	4.00 点
合計		30	24.67 点

◎ 評価に関する補足 又は 実施事業に対する意見・感想・アドバイス等

・市との協働ができていると感じた。今後の事業化に向け、具体的なニーズを把握できたことが大きな成果になったと思う。
 ・子どもたちが様々なスポーツに親しみ、いきいきと楽しむ様子から事業目的の達成が伝わる。また視点を変えた「居場所のあり方」に対する気づきにもつながる取組であった。
 ・今後は地域とのつながりを意識した事業展開に期待する。
 ・児童にとって良い体験である。好事例として他地域、他団体の実施への広がり期待する。
 ・子どもの支援を中心としながらも多世代間コミュニティ形成を視念に置いていることがこの事業の魅力であったが、思ったより協力者が得られなかったのは今後の課題。市も地域で活躍する各団体との情報収集や各部局と連携を取り、多世代間交流実現のための情報提供支援ができると良かったと思う。
 ・収支における市負担割合が大きいため、今後参加者の希望等も調査しながら自己負担や支援団体との連携を検討し、自主運営可能点を見出す必要がある。
 ・勝ち負けや技術向上を目的とする少年団等とは違う形で身体を動かす場として有効だと思う。地域の大人を巻き込める仕組みが必要。
 ・活動する場所が広がると良いと感じる。
 ・あえて公共バスを利用することで子どもの経験につなげている点は良かった。
 ・取組内容は面白い。一方で参加者が20人程度というのは勿体ないように思う。

**市民の企画提案による協働のまちづくり事業
平成29年度実施事業 評価結果及び意見要旨**

提案事業名：旭川市・道北地域における子どもの居場所づくりの啓発事業-「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーin旭川・道北」の実施-			
提案団体名：旭川おとな食堂			
担当部署名：子育て支援部子育て支援課			
評価項目	配点等	配点	評価平均点
事業の成果	①事業目的が達成され、市民(受益者・参加者等)の満足を得ることができたと認められるか。	5	4.67 点
	②事業内容、実施方法は妥当で、計画に基づき実施されたか。	5	4.33 点
	③事業の収支は適切であり、費用に見合った効果があったと認められるか。	5	4.17 点
	④協働事業として又は団体の自主的な活動による今後の発展や、他の取組への波及効果が期待できるか。	5	4.33 点
協働の効果	⑤団体と市の役割分担が妥当で、それぞれが役割を果たせたと認められるか。	5	4.33 点
	⑥協働により、単独で実施するよりも事業効果が高まったと認められるか。	5	4.33 点
合計		30	26.17 点

◎ 評価に関する補足 又は 実施事業に対する意見・感想・アドバイス等

- 旭川市の子ども食堂が多様なネットワークの中で実施されていることが伝わってくる。分析も行われ素晴らしい取組である。
- 子ども食堂にまつわるフォーラムは、より多くの市民に子ども食堂の存在、あり方、課題を伝える良い機会であったと思う。今後、課題解決の取組や担い手の拡大に向けた事業展開に期待する。
- 居場所が子どもたちのちよとした精神的ゆとりになればと思う。もっと実施とPRが広まることを期待する。
- 子ども食堂の位置づけをしっかりと確立する必要があると感じる。
- 全国的な視野から旭川、道北の取組を再考することは、現状を見直し今後の方向性を検討するきっかけとなった点で評価できる。
- 旭川、道北での取組の特徴や課題をもとに、ワークショップを通じて今後の行動化に向けた方向性をまとめ、事業目的にある「市内の多様な子ども支援の場の構築」につなげられると良かったと思う。そのためにも、200名の参加者の所属や関心、ネットワーク形成及び拡大のために連絡先等を記載できるようなアンケートの実施も考えられたかと感じる。
- 地域を活用した、地域の大人たちとつながる仕組みができると良い。
- 話題として挙がってきている子ども食堂だが、メディアの取り上げくらいでしか活動の様子が見られないのが残念に思う。
- 講演会の実施と実際の子ども支援に与えた効果の因果関係が実施報告に示されていると、事業実施の意義が分かりやすく伝わると思う。
- 支援者の声は聞こえるが、参加する子どもたちの声はなかなか聞こえてこない。子どもたちの思いを表現する場があっても良いと感じる。

提案事業名：動物の命を繋ぐ街づくり			
提案団体名：繋ぐのは命プロジェクト			
担当部署名：経済部旭川市旭山動物園			
評価項目	配点等	配点	評価平均点
事業の成果	①事業目的が達成され、市民(受益者・参加者等)の満足を得ることができたと認められるか。	5	4.33 点
	②事業内容、実施方法は妥当で、計画に基づき実施されたか。	5	4.33 点
	③事業の収支は適切であり、費用に見合った効果があったと認められるか。	5	4.33 点
	④協働事業として又は団体の自主的な活動による今後の発展や、他の取組への波及効果が期待できるか。	5	3.83 点
協働の効果	⑤団体と市の役割分担が妥当で、それぞれが役割を果たせたと認められるか。	5	4.33 点
	⑥協働により、単独で実施するよりも事業効果が高まったと認められるか。	5	4.50 点
合計		30	25.67 点

◎ 評価に関する補足 又は 実施事業に対する意見・感想・アドバイス等

- 取組の地道さを感じる。なぜ旭川でこの取組を行うのかという意味づけがもう少しあると良い。
- 取組の効果として多くの市民の理解を得て、協力する企業も現れたことから、当初の目的は達成されたと感じる。今後の課題解決やパネルシアターの活用に期待する。
- 子どもたちに動物の生存状況を教えることは大切だと思う。しっかりと資金の確保方法を検討してほしい。
- 全国的にも認知の高い旭山動物園から、人と命に関連する生活環境への意識改革と生活改善の機会として情報発信する意義深い取組と考える。フォーラムの参加者アンケート結果からもその効果が表れている点が評価できる。
- 参加者の意識の拡散支援が鍵となるため、感じたことを表現する場、身近な行動の中で環境のために変えていけるような点を話し合う場等、行動化につながるプロジェクトへ発展することを期待する。
- 旭山動物園以外にも、市民の生活と関連する部局との連携につなげ、暮らし全体としての市民のあり方をアピールできると良いと思う。
- プロジェクトが目指すゴール及び具体的な活動とのつながりが伝わりにくかったように思う。
- 収入源が負担金のみであり、今後の活動継続に心配が残る。
- 今年度作成したパネルシアターというツールを活用しながら活動を継続するものと思うが、今後の経費の使い方の工夫に期待したい。
- 今後の取組の課題や方向性、動物園との役割分担をより明確に整理する必要性を感じる。
- パネルシアターの作成に時間を要し、訪問活動の回数が少なかったのは残念。もっと色々な場で実施できると良い。

**市民の企画提案による協働のまちづくり事業
平成29年度実施事業 評価結果及び意見要旨**

提案事業名：第3回北海道ヒーローサミット				
提案団体名：北海道ヒーローサミット実行委員会				
担当部署名：経済部経済交流課				
配点等	配点	評価平均点	◎ 評価に関する補足 又は 実施事業に対する意見・感想・アドバイス等	
評価項目				
事業の成果	①事業目的が達成され、市民(受益者・参加者等)の満足を得ることができたと認められるか。	5	5.00 点	<ul style="list-style-type: none"> ・旭川の名物イベントに発展するまで事業を育て上げた点は高く評価される。また、学生を巻き込むことに成功している点も評価すべきと感じた。市のイベントにするという方法もあると思う。 ・多くの子どもたちの笑顔で満ちあふれた事業だった。 ・ヒーロー団体との連携や企業等の協力、市民の応援を得ながら次年度以降の展開に期待する。 ・子どもたちのヒーローとしての存在を今後も広めていってほしい。 ・3年目を意識し、計画段階から資金調達手段や宣伝活動の自立を図ろうとした点や、収支科目が概ね計画通りだった点は評価できる。売店出店料収入が見込みよりやや少なかったようなので、分析の必要を感じる。 ・これまでの食のアプローチから、子どもがターゲットであることから木製小物や玩具を遊びに取り入れたり、玩具の仕入れや販売の機会を学生に提供した点は、イベントや郷土愛を支える人材育成にまで発展しており、評価できる。 ・冬期という旭川ではなかなか集客が見込みにくい時期に一定の成果を出していることも意義深く、冬期開催を継続してもらいたい。また長時間滞在し楽しめるイベントであることで、旭川の観光課題となっている短期滞在を改善するという点でも大きく貢献している。 ・市との協働も円滑で、今後に向けての情報交換もできている。 ・“聖地”となるためには継続が必要。クラウドファンディングだけでなく経費削減も視野に入れて良いのではないか。 ・一般的なヒーローキャラクターだと、変身ベルト等の鉄板アイテムや期間・数量限定の商品があった。そういった商品開発も良いと思う。 ・6,000人の大規模イベントに成長し、多方面でのPR効果を実感する。 ・ヒーローというコンテンツが持つ高い集客力を活かし、クラウドファンディングのような新しい資金調達方法に挑戦するたくましさも感じられた。 ・今後の発展の可能性も高く、広がりを楽しみにしている。
	②事業内容、実施方法は妥当で、計画に基づき実施されたと認められるか。	5	4.83 点	
	③事業の収支は適切であり、費用に見合った効果があったと認められるか。	5	5.00 点	
	④協働事業として又は団体の自主的な活動による今後の発展や、他の取組への波及効果が期待できるか。	5	4.67 点	
協働の効果	⑤団体と市の役割分担が妥当で、それぞれが役割を果たせたと認められるか。	5	4.67 点	
	⑥協働により、単独で実施するよりも事業効果が高まったと認められるか。	5	4.67 点	
合計	30	28.83 点		